

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(本格型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR204B
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: 第 4 分野
研究開発課題名	: 粘菌由来の植物寄生性線虫忌避剤を中核とした線虫忌避システムによる新しい土壌健全化技術の提案
プロジェクトリーダー 所 属 機 関	: パネフリ工業株式会社
研 究 責 任 者	: 齊藤 玉緒(上智大学)

評価結果の総合所見

当初の目標は達成しているが、実用化においては課題が残った。今後の取り組み次第ではイノベーション創出の可能性はあると考える。

安定的に維持可能な土壌健全化技術として、粘菌が産生する線虫忌避効果を有する化合物を利用した環境に優しい植物生産を目的とする本研究はユニークで興味深い。目標としていた忌避物質の同定、活性の高い忌避物質カクテル開発は達成されたが、実用化には課題が多いように思われる。実際に、実圃場での評価では被害の減少を確認することができず、評価方法や技術戦略としての見直しを期待したい。

また、粘菌の育種によって忌避活性を高めた成果は評価できるが、本技術のさらなる高度化のためには、忌避効果の原因となる物質とそのメカニズムを明らかにし、効果的かつ説得力のある技術としての開発が必要であると考ええる。

以上